

わくわくサマーキャンプ 2016 in 益子

活動報告書

2016年8月18日（木）～19日（金）



一般社団法人栃木県若年者支援機構

ごあいさつ

一般社団法人栃木県若年者支援機構では5月2日に「昭和こども食堂」をオープンいたしました。開業前よりたくさんの皆さまにご寄付、ご支援を頂いてスタートすることができました。オープンしてからは毎週子どもたちだけでなく、親子や大人の方まで幅広い年齢層の人たちがこの食堂で共に食事の時間を過ごしています。その中には母子家庭の方や生活困窮世帯の方もいらっしゃいます。

昭和こども食堂では、ここでつながった子ども達と食事や学習だけでなく、自然にふれたり、他の友達と一緒に何かをしたりといった「体験活動」の機会も提供できたらいいなと考えるようになりました。お腹もいっぱいになるだけでなく、心も大きくなるこども食堂を作っていくことが出来たら、こども食堂の可能性ももっと広がっていくと思います。

その第一弾として、今回のワクワクサマーキャンプを NPO 法人トチギ環境未来基地との共催という形で、益子町を舞台に開催することができました。初めての取り組みなので参加してくれる子どもがいるだろうか、心配もしましたが蓋を開けてみるとすぐに定員に達する申し込みをいただくことができました。

今回のワクワクサマーキャンプも怪我や事故もなく無事に活動を終えることができました。子ども達のたくさんの笑顔がうまれました。お友達とけんかをしたり、きもだめしで怖くて泣いたり涙もありましたが、最後まで皆で精一杯楽しむことが出来ました。

地域が子どもを育てる、いろんな大人が子どもの成長を応援する、子ども達同士で学び合う。こども食堂を通じて少しでもそのことを形にしていけたらと思っています。引き続きのご支援どうぞよろしくお願いいたします。

ワクワクサマーキャンプ in 益子のスタッフを代表して

栃木県若年者支援機構（昭和こども食堂担当） 荻野友香里



開 催 概 要

開催日時	2016年8月18日(木)・19日(金)の一泊二日のプログラム
開催場所	栃木県芳賀郡益子町他
宿泊場所	「サマーハウス」(NPO法人トチギ環境未来基地の拠点)
参加者	栃木県内の小中学生16名
参加費	2,000円/人 ※お支払いが難しい方は免除申請あり
開催費用	(宿泊費、食材費、プログラム費、諸謝金)
スタッフ	6名(うちボランティア1名)
主催	一般社団法人栃木県若年者支援機構 NPO法人トチギ環境未来基地

全体スケジュール

～ 1 日 目 ～

10:30	JR 宇都宮駅集合
11:15	サマーハウス着 オリエンテーション
12:00	お昼ごはん
13:00	木工クラフト 竹のお箸とカタツムリのすごろくづくり
15:00	芳賀富士山登り
17:00	晩ごはんづくり・お風呂
18:30	晩ごはん
19:30	花火、きもだめし
21:00	おやすみ

～ 2 日 目～

7:00	起床
8:00	朝ごはん
9:00	朝のお勉強(夏休みの宿題!)
10:00	川遊び(大瀬やな)
12:00	お昼ごはん(流しそうめん)
13:00	終了式
14:00	出発
15:00	JR 宇都宮駅で解散

プログラムの紹介

～ 1 日 目 ～

1日目は生憎の雨となりました。雨でも楽しめるプログラムに予定を変更して行いました。

木工クラフト体験

実際に木に触れてみようという体験の一つとして木工クラフト体験を行いました。今回は竹を使い、小学校低学年までと高学年・中学生グループに分かれて、それぞれ子どもたちのレベルに合わせたものづくり体験を行いました。まず小学校低学年グループではかたつむりを作ることに挑戦しました。すでに切っている竹のパーツの中から自分の好きな形のものを選び、紙やすりで綺麗にします。その後、ビーズを付けたりしながら思い思いのオリジナルかたつむりを一生懸命作ってくれました。かたつむりを2段重ねて親子のようにしてみたり、小さなビーズをきれいに並べてカラフルなかたつむりにしてみたり、個性豊かなかたつむりがたくさん出来上がりました。そして出来上がったかたつむりを使い、みんなでサイコロゲームも行いました。マス目も自分たちで考え、お友達と時間いっぱいまで賑やかに楽しんでくれました。もう一つの高学年・中学生チームでは、もう少し難しい竹の箸づくりに挑戦しました。ナイフで丁寧に細くしていきます。みんな真剣な表情で最後に両チームから2人ずつ、それぞれの作品を紹介してもらい、実際に作ってみて難しかったところや工夫した点について発表してもらいました。



山登り

その後小雨になってきたところで、少しでも外に出て何か体験をしてもらえるように、近くにある芳賀富士に皆で行ってみる事にしました。しかしやはり少し雨が降っていることもあり、出発前にビニール袋で手作りの合羽を作りました。中学生が小学生たちの合羽を作ってあげ、そのあと合羽に絵を描いてそれぞれお気に入りの1枚を作って出発しました。神社のある所まで登り、頂上まであと少しというところでしたが、雨が強くなってきたため安全を考え下山することにしました。



夕ご飯

夕ご飯は子どもたちも一緒に皆で作りました。夕飯のメニューはカレーライス、ポテトサラダ、フルーツパフェです。小学校4年生以上の子どもたちにはカレーライスとポテトサラダ作りのお手伝いをしてもらい、3年生以下の子どもたちにパフェ作りを手伝ってもらいました。中には料理が好きで家でも自分でメニューを考えて作ることがあるという子もいて、みんな積極的にお手伝いをしてくれました。低学年の子は缶詰を開けたり出来る事をするだけでなく、お皿や箸を人数分数えて運んだり、お茶を全員分注いでくれたりと自分に出来る事を見つけてお手伝いをしてくれました。

そして皆で協力して作ったご飯、大人数で食べるご飯は何故だかいつもより美味しく感じ、女の子も元気よくおかわりをしていました。到着してすぐのお昼ご飯の時間帯よりも仲良くなって色々な話で盛り上がっていたとても賑やかな夕食の時間となりました。



花火

夜には雨が上がり、予定通り花火をすることが出来ました。サマーハウスの庭で用意したたくさんの手持ち花火を皆一つずつ持ち、お友達に当たらないように注意しながら楽しみました。途中煙がすごく、休みながら夏の楽しみの一つを満喫している様子でした。



きもだめし

そしてこの日最後のお楽しみプログラムがきもだめしです。これを楽しみにしていた子が特に男の子の中にはたくさんいました。子どもたちには木工クラフトと同様に小学校低学年と高学年・中学生の2グループに分かれてもらいました。場所はサマーハウス周辺とし、暗い道から少し森の中に入り、ゴールにいるお化け役のスタッフから水鉄砲をもらってサマーハウスに戻ってくるコースです。スタッフが一人子どもたちと同行し、他のスタッフがお化け役となり、お面をつけて暗闇で子どもたちを待ち受けました。難易度とお化けの怖さをグループによって変えましたが、自由参加とし、怖くて行きたくない子にはサマーハウスでスタッフと遊んだり、ゲームをしたりして楽しんでもらいました。



～ 2 日 目 ～

2日目は夏晴れになりました。川遊びなど外でのプログラムを楽しむことができました。

夏休みの宿題（1時間）

2日目の朝はお勉強の時間から始まりました。学習支援の講師も行うスタッフが中心となり、子どもたちの宿題を見て、分からないところを見てあげたり、中にはなかなか勉強する気になれなかったり、集中力が続かない子もいたり、



水遊び・スイカ割り

茂木町にある、大瀬観光やなに行きました。昨日までの雨で川の水量は多かったのですが、川には入らず、施設にあるじゃぶじゃぶ池にはいって遊びました。じゃぶじゃぶ池には魚もいて、魚を捕まえたり水鉄砲で水の掛け合いをして遊びました。手づかみで30cmくらいのナマズを捕まえた子もいました。やっぱり水遊びはみんな大好きですね。

休憩時間には、近くの芝生の上でスイカ割をしました。2チームに分かれ目隠しをして競争しました。子ども達は大きな声を出して割る人を案内して、見事両方割れました。



流しそうめん

川遊びから戻って、サマーハウスで昼食になりました。この日の昼食は、流しそうめん。初めてやるという子どもも多く、みんなで列をつくりにぎやかにそうめんを食べました。



修了式

そしていよいよ楽しかったサマーキャンプも終わりの時間もなりました。2日間新しい友達と仲良く楽しく過ごしたみんなを称え、スタッフより修了証を渡しました。受け取った後一人ひとりキャンプの感想をいってくれました。「楽しかった」、「また参加したい」という子どもが多く、充実した2日間になったと実感することができました。



子どもたちの感想（一部紹介）

- ・小さい子ばかりだったけど、知らない人と交流でき、協力し、何かをやり遂げることが出来たので良かったと思います。みんなとお話ししたりご飯作りをしたことが楽しかったです。（中学生・女子）
- ・池でみんなと水遊びをすることが出来たし、流しそうめんをしたことが楽しかった。泣いてしまったけど、きもだめしが一番楽しかった。（小学生・女子）
- ・小刀とか普段使わないもので色々作れたのが楽しかった。（中学生・男子）
- ・年下の子の面倒を見るのが大変でした。（小学生・男子）
- ・きもだめしが暗くて急にお化けが出てきて本当のお化け屋敷みたいだった。スイカ割りがたまにしかできないから1番楽しかった。（小学生・男子）
- ・初めてあった人と話したり、遊んだりしたのがとても良かった。家などであまりできない流しそうめんなどが出来たのが楽しかった。（小学生・女子）

スタッフの感想

今回のプログラムは、通常の自然体験キャンプよりも参加する子どもの年齢幅が広がったので（6-12歳）、子ども達がみんな仲良くなり、チームとして活動できるかが少し心配でしたが、プログラムが始まってみると、小学校高学年や中学生の子ども達が小さい子ども達の面倒をよく見てくれて、すごくいいチームになりました。

今回は「ともかく楽しい夏休みの2日間を」をテーマとしていたので、そのことは十分達成できたとおもいますが、今後のプログラムについては、子ども達がやりたいことを主体的にやるという自由さを残しつつ、もう少し各プログラムの目的や目標を打ち出して普段なかなか学んだりやったりすることの「体験」を得られるような構成にするのもいいかと思いました。

ご支援いただきました皆様のおかげで子ども達にかけがえのない2日間を提供できました。ありがとうございました。

ご支援をお願いします

①昭和子ども食堂 運営サポーター

昭和子ども食堂は皆さまからのご寄付、ご支援により運営を行っております。今後も安定して、子どもたちの居場所の一つとして運営していくことが大切であると考えています。引き続きご支援をお願いいたします。

②子どもの体験活動応援基金

このサマーキャンプのように、昭和子ども食堂を入り口に子どもたちに様々な体験の機会を提供していきたいと考えています。子どもたちの心の成長をご支援下さい。

寄付の方法

① スタッフに手渡し

栃木県若年者支援機構スタッフへ直接現金をお渡しください。

② お振込み

栃木県若年者支援機構の下記口座へお振り込みください。

◆ゆうちょ銀行からのお振込み

記号：10740

番号：10027801

◆ゆうちょ銀行 ○七八（ゼロナナハチ）支店 普通口座

名義 イッパソヤダシホウジントキギケンジャクネンシヤエンキコ

※ご寄付下さった方は、お礼状等をお送りさせて頂きたいので栃木県若年者支援機構までご連絡ください。

特典 ・昭和子ども通信を定期的に送付いたします（年3回）

・支援者の集いにご招待いたします（年1回）

・ホームページ等でご紹介をさせていただきます

一般社団法人栃木県若年者支援機構

NPO法人トチギ環境未来基地

〒320-0032 宇都宮市昭和 2-7-5

〒321-4104 芳賀郡益子町大沢 2584-1

(明在庵内)

TEL:028-678-4745 FAX:028-678-4746

TEL/FAX:0285-81-5373

